



所信声明
合併症のある妊産婦への助産師のケア
Midwifery care for women with complications of childbirth

背景

出産の医療化が進み、出産時の合併症で治療を受ける女性が増加している。これに伴って、可能な限り自然な出産を目指す方針を維持するためには、すべての女性のケアにおいて助産サービスの存在を確保する必要性が生じている。出産時の合併症のある女性については、分野横断的なチームによる最善のケアを受けられるようにすることが重要である。そして、そのチームには、助産師が含まれていなければならない。

世界保健機関は、出産は過剰な医療化に結び付きがちなイベントであるとしている。臨床適応のない帝王切開が世界各地で増えていることがその例であり、乳幼児と母親の両方にとって意図しない不利益な影響を及ぼす可能性が現実となっている。

ICM は、妊娠・出産・出産後に合併症を発症した女性には、合併症に対応した専門家によるケアに加えて、助産師によるケアが必要であると考え、助産師が産科ケアやその他の専門ケア、および母体または新生児に関する治療にも関与することが望ましい。女性が多くの馴染みのない医療従事者からケアを受けた結果、恐れと不安が強くなるという状況があるが、助産師が存在することによって、ケアと支援の継続性が可能になる。生理的・心理社会的プロセスとしての出産に対するこの助産師のアプローチは、女性の出産経験を最高の経験とし、身体的にも精神的にも最善の健康状態で母親として育児に備えることへの支援となる。

見解

ICM は、出産時に合併症を伴う女性に対する助産ケアの有効性を強く確信しているという考えをさらに進める取り組みを続ける。妊娠中の高血圧・心臓疾患・糖尿病・貧血などの合併症や、異常分娩（吸引分娩、鉗子分娩、帝王切開）、早産や産後合併症などの産科合併症に対する治療が行われるときには、ICM「基本的助産実践に必須なコンピテンシー」に定められる通り、助産師のケアが提供されなければならない。世界でも助産師が受け入れられている国々では、助産師は正常分娩において適切かつ技術を持った専門家であり、加えて合併症を伴う出産のケアと治療において重要な役割を果たすことが認められている。

会員協会への指針

すべての女性が助産ケアを受けられるようにする取り組みにおいて、ICM 会員協会は、出産前・出産時・出産後に合併症を発症した女性のための分野横断的なチームの一員としての助産師の必要性をあいまいにしてはならない。

注：出産には、妊娠、分娩、産後期を含む。

関連 ICM 文書

ICM. 2010 基本文書 基本的助産実践に必須なコンピテンシー（2013年改訂）

その他の関連文書

Monir Islam, Sachiyo Yoshida, 2009. Women are still deprived of access to lifesaving essential and emergency obstetric care. International Journal of Gynecology & Obstetrics. Volume 106, Issue 2, Pages 120-124, August 2008.

Partamin et al. 2012. Patterns in training, knowledge, and performance of skilled birth attendants providing emergency obstetric care and newborn care in Afghanistan. International Journal of Gynecology & Obstetrics. Volume 199, Issue 2, Pages 125-129. November 2012

WHO. 2004. The Critical Role of the Skilled Attendant.

WHO. 2011. Evaluating the quality of care for severe pregnancy complications.

2008年、グラスゴーでの国際評議会にて採択

2014年、プラハ国際評議会にて見直し・採択

次回の見直し予定：2020年

2016年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。